

地球惑星科学委員会 地球・惑星圏分科会 (第25期・第6回)
議事要旨

日 時：2022年12月26日(火) 10:00～12:00

会 場：遠隔会議 (主催会場：国立極地研究所) (Zoom online 会議室)

出席者：(名簿順、敬称略)

川村 光、小池 俊雄、田近 英一、中村 卓司、西 弘嗣、堀 利栄、
阿部 彩子、石渡 明、植松 光夫、大谷 栄治、奥村 晃史、川幡 穂高、
掛川 武、木村 学、久家 慶子、佐々木 晶、佐藤 薫、新永 浩子、
関 華奈子、高藪 縁、谷口 真人、津田 敏隆、中村 正人、中島 映至、
中村 尚、新野 宏、長谷部 徳子、花輪 公雄、原田 尚美、日比谷 紀之、
福田 洋一、藤井 良一、古屋 正人、益田 晴恵、藪田 ひかる、山岡 耕春、
山形 俊男、渡邊 誠一郎 (38名)

オブザーバー：村山 泰啓

欠席者：東 久美子、大久保 修平、林 正彦、八木谷 聡、山岸 明彦

配付資料：

資料1 日本学術会議 地球惑星科学委員会 (第25期・第5回)・同委員会地球・惑星
圏分科会 (第25期・第5回) 合同会議議事要旨

資料2 前回(第5回)分科会以降の経過

資料3-1 地球・惑星圏分科会 地球観測衛星将来構想小委員会 報告

資料3-2 地球・惑星圏分科会 学術データ共有小委員会 報告

資料4 未来の学術振興構想について

参考資料1 「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募
について

参考資料2 学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想ロードマップ策定
方針について(案)

参考資料3 日本学術会議の在り方についての方針 (内閣府)

参考資料4 日本学術会議の在り方について(具体化検討案)(内閣府)

参考資料5 声明_内閣府「日本学術会議の在り方についての方針」(令和4年12月6日)
について再考を求めます(日本学術会議)

議事：

中村卓司委員長より、定員 43 名中過半数の 38 名出席があり、開催要件を満たしている旨、確認された。引き続き、配布資料の確認を行った。

(1) 前回議事録確認

議事要旨(資料 1：すでに確認・公表済み)をもとに、前回の会議の内容を再確認した。

(2) 経過報告

中村委員長より、資料 2 に基づき、大型研究ヒヤリング・未来の学術振興構想への対応、最近の学術会議総会での議論を中心に、前回(第 5 回)分科会以降の経過説明がなされた。

(3) 小委員会報告

地球観測衛星将来構想小委員会報告：

高薮小委員会委員長より、資料 3-1 に基づき、「見解」の発出に向けた活動の概要ならびに、「見解」の概要について以下の説明がなされた。

・「見解」の仮題は「持続可能な社会のための地球衛星観測の統合的戦略立案の必要性について」である。

・主な内容は次の 4 点である。

1. 気候危機対策の科学的基盤と国土強靱化の要としての地球衛星観測の価値
2. トータルシステムの戦略(プログラム化)立案の必要性と体制
3. オープンサイエンスの推進
4. 人材育成において留意すべき点

その後の質疑の結果、分科会として「見解」を提出することを承認した。

学術データ共有小委員会報告：

村山小委員会委員長より、資料 3-2 に基づき、活動の概要が説明され、

・学術資料共有小委員会との合同シンポジウムを、2023 年 3 末～4 月頃のオンライン開催を軸に、企画・調整中であること、

・欧州委員会主催の ICRI (International Conference on Research Infrastructures)

2022 での招待講演の実施状況、

などが報告された。

学術資料共有小委員会報告：

堀小委員会委員長より、前回委員会以降の活動と関連して、

- ・大型研究計画ヒヤリングを実施した、資料アーカイブ化とキュレーションシステムに関連する提案が、日本地質学会より「未来の学術振興構想」に申請されたこと、
 - ・学術データ共有小委員会との合同シンポジウムの開催準備中であること、
- が報告された。

(4) 未来の学術振興構想について

中村委員長より、資料4に基づき、分野別の提案件数、地球惑星科学関連の提案状況、今後のスケジュールなどの概要が説明され、その後、大型研究計画ヒヤリングや文部科学省の大型プロジェクト・基本構想ロードマップ策定との関連などを中心に質疑が行われた。

(5) その他

特になし